

# 照陽の家だより

## お知らせ

毎年、恒例の地域交流会「照陽の家祭り」はコロナウィルス感染予防のため残念ですが今年度は中止と致します。毎年、開催を楽しみにして頂いていた皆様には本当に申し訳ありませんがご理解頂きますようお願い致します。今後とも職員一同、気を引き締めて業務に専念して参ります。続いてご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

## 照陽の家の日常



釣り体験



七夕会



水やり



スイカ割り大会

照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



## ひなたぼっこ保育園の日常

米子市地域型小規模保育



スイカ割り大会



七夕飾り



## 今月の言葉

貧乏な人とは 物を持っていない人ではなく  
かぎりない欲望を持つ人のことです。 ~ホセ・ムヒカ~

## 新しい暮らしのヒント 地域密着型インタビュー！



今回も暮らしのヒントをテーマにインタビューをしてきました！  
**第2弾**はなんと「**薬局**」！照陽がいつもお世話になっている  
かくばん薬局の**梅国先生**にインタビューしてきました！



### Q1. 薬局の知られていない情報や役割などを教えてください。

以前の薬局では病院の処方箋が無いと薬局に入りづらい感じを受ける方が多いと言われていました。最近では病院に行く前に相談があったり、検査値の相談にこられたり、薬局によっては血糖値を測ってくれる薬局もあります。国は薬局を**医療のコンビニエンスストア**として期待しています。今年のコロナ影響で病院の受診が難しい患者さんには主治医の指示があればご自宅まで配達や郵送するシステムもあります。最近健康食品の相談が多いのと給付金のコピーなどの依頼や相談も多いです。皆さん気軽に何でも相談してください。

### Q2. 感染について薬剤師さんの視点で対応策などありますか？

コロナのニュースばかりでテレビを見るだけでストレスを感じたり、自宅にいる時間が長く運動不足により**血圧の上昇**、**血糖値の上昇**、**免疫力の低下**の方が非常に増えています。薬局は常に密ですし、風邪の方々にも毎日接しています。それでも風邪をひかないのは接するたびに手洗いうがいをしているからだと思えます。またこの時期はマスクをしているのと、免疫力低下で熱中症の患者さんが多くなると予想されます。去年は日本で**1580人**の方が命を落とされています。**80%は65歳以上**の方々です。マスクをすると喉が渇きにくく熱中症になりやすいので**人混みの時や会話をするときはマスクをして、それ以外は無理につける必要はないと思えます**。また免疫力や筋力低下を避けるため引きこもることは良くないです。手洗い、うがい、こまめな水分補給など基本的なことですが継続し続けることが対策だと思えます。

### Q3. 認知症の方に対する対応や照陽との連携の工夫などありますか？

まず誰にでも発症の可能性がある**認知症**について、**早めにお薬を服用**することをお勧めします。医師の指示書がなければ処方できないのですがお薬の内容について聞きたい方は気軽に相談ください。実際にはご家族から介護疲れの話や認知症の家族の対応などを相談される方が多いんです。薬局も**人対人の関係を大事に生活を支える相談窓口**になればいいなと思っています。照陽さんはいつも子供の笑い声が聞こえていて利用者さんも元気な印象が多く見受けられます。自分達も薬を届けに行く際に短い時間ですが照陽の利用者さんやスタッフと交流できるのを楽しみにしています。また、私が第一回目の講師をさせて頂いた「いきいきサロン」など地域に目を向けた取り組みに関心を持っています。

爽やかで優しい梅国先生。前回取材した松本郵便局長と共通して、生活を支える中枢機関を目指しておられました☆ この取材を通して地域の資源が手を取り合えるきっかけになればと感じることが出来ました！

